

## 私が都構想に賛成する理由

維新が主張する都制のメリットは期待しない。信用も出来ない。

一方、自民、共産の反対論は「既得権擁護」が本音であろう。共産と組むなど不純だ。

菅内閣は、既得権・縦割り行政弊害の打破を目指しているが、河野大臣が手を付けられるのは、学術会議の廃止など、ごく一部だ。

霞が関周辺には、政府、議員に癒着して、国が財政負担している大小の団体が、何百、何千とある。議員、役人の天下り先にもなっている。余りにも、強大過ぎて河野大臣も、菅内閣も手が付けられないだろう。

公明党の指定席国交大臣さえ、新内閣は変える事が出来なかった。公明党はゼネコン、観光業者を配下に納め、土木・観光業を票田と、資金源にしている事は、業者の誰もが解っている事だ。

強大な既得権擁護派の思惑を「ぶち破り」戦後、がんじがらめに固定化した、あらゆる既得権組織を、大阪から全国に先駆けて「ぶち壊す」のも、日本を変える手段として、今回の住民投票は意義が有る様に思う。

社会悪の博打IR法案一つさえ「見直す」事が出来ない維新へ期待は出来ない。

令和2年9月の自殺者数は、1,805人。(女性の割合は約35%)コロナ禍がすべての原因ではないが、すでに自助努力の限界が来ている。いったい、政治はどこへ行くのか。

破れかぶれで、全ての既得権体制をリセットさせ、全国に先駆けて、大阪から改革の狼煙火が上がらないものだろうか？

### 【本コラム 50 回目を参照】

福島原発汚染水は「トリチウム」だけではない。他の放射性汚染物質が大量に含まれている。政府は世界に恥をさらさぬように、大量のタンク全基の線量を至急に調べよ！国益を軽んじる原子力シンクグループの提言を信用するな！